

# 平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目					
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	5. 連携	
					1-1	2-1	3-1	4-1	5-1	
特別研究	18DNSD1101	特別研究Ⅰ	1通	学生は看護の場での実践を行いながら、自らの志向により研究課題を明確にし、倫理的な配慮がなされた研究計画を立案する。	学生は、自ら教員の指導・支援を求めながら、次の目標に到達することができる。 1. これまでの研究結果からもたらされた疑問や課題を明確にし、研究目的を設定できる。 2. 研究目的に応じた研究計画を立案することができる。 3. 倫理的配慮について検討し、研究倫理審査を受けることができる。もしくは、研究倫理審査を受ける準備ができる。	◎	○	◎	○	
	18DNSD2102	特別研究Ⅱ	2通	学生は看護の場での実践を行いながら、研究計画に基づき研究を実施し、研究成果を論文にまとめ、査読のある学術雑誌に投稿する。	学生は、教員の指導・支援を自ら求めながら、次の目標に到達することができる。 1. 研究倫理審査で承認を得た上で、自身の研究計画に基づき、また状況に応じて修正・変更を行いながら、研究を実施することができる。 2. 研究成果の中間発表を行う。もしくは、中間発表への準備ができる。 3. 中間発表での参加者の意見・助言をふまえて論文を作成し、査読のある学術雑誌に投稿することができる。もしくは、投稿への準備ができる。	○	○	◎	○	○
	18DNSD3103	特別研究Ⅲ	3通	学生は看護の場での実践を行いながら、学術雑誌に投稿した論文の査読のやりとりを通して、論文を推敲する。また、投稿した論文の内容をふまえ、博士学位申請論文を作成する。	学生は、自ら教員の指導・支援を求めながら、次の目標に到達することができる。 1. 研究成果を、学術学会等で発表することができる。 2. 学術雑誌に投稿した論文の査読のやりとりを通して、論文を推敲することができる。 3. 投稿した論文の内容をふまえ、博士学位申請論文を作成することができる。	○	◎	◎	◎	
共通教育科目	18DNSD1104	看護エビデンス特論	1前	看護実践におけるエビデンスとは何かを理解し、エビデンスを創生ならびに発信する基盤となる能力を修得する。	1. エビデンスを探求する主要な研究方法について理解し、説明できる。 2. 関心領域の論文をクリティークすることにより、論点を明確にし、自らの課題解決に結びつけることができる。 3. エビデンスを創生し、発信する能力の基盤を修得することができる。	◎		○	○	
	18DNSD1105	看護理論探求特論	1前	看護実践や研究に活用できる諸理論の特性を理解することを通して、看護実践や教育現場で生じている現象と諸理論の位置づけを批判的に吟味する基礎的な能力を修得する。また、看護実践・教育・研究における新たな理論構築のために、概念間の関係性を記述・統合する基礎的手法や実際の活用方法を修得する。	1. 看護実践・教育・研究に諸理論を適用していく際の利点と限界を説明することができる。 2. 看護の臨床現場で出会う現象や看護実践への諸理論の位置づけと活用について考察できる。 3. 概念分析の基本的な方法を説明することができる。 4. 諸理論の批判的な吟味と概念分析を通して、新たな理論の探求および看護学の発展への貢献のために看護教育・実践・研究における諸理論の活用のあるあり方を提案できる。	◎		◎	○	
	18DNSD1206	看護研究倫理特論	1後	看護研究を行う上で発生する倫理的課題に対応するために、看護研究で遭遇する可能性の高い倫理的課題に関する具体的な事例に対して、個人や組織の対応の方法を理解し、倫理的に配慮された看護研究を展開できる能力を修得する。	1. 医療技術の進歩や保健医療福祉の動向、社会状況のあり方に伴う看護研究の倫理的課題について理解することができる。 2. 看護研究を行う上での倫理的課題に対して、解決方法に至るプロセスを説明することができる。 3. 現任教育の場での看護研究の倫理的課題に対応する方法を説明することができる。	○		○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目					
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	5. 連携	
					1-1	2-1	3-1	4-1	5-1	
共通教育科目	18DNSD1207	社会連携看護ケア特論	1後	社会経済格差や高齢化、高齢化に伴う認知症の増加、精神障害を有することによる生きづらさなどを理解し、保健医療福祉の様々な組織や人々との連携をはかり協働し実践していく上での基本的な考え方や看護実践の実際のあり方を考察できる能力を修得する。	1. 現代社会において問題となっている社会経済格差や高齢化、高齢化に伴う認知症の増加、精神障害を有することによる生きづらさなどを説明できる。 2. 保健医療福祉の様々な組織や人々との連携をはかり協働し実践していく上での基本的な考え方や看護実践の実際について説明できる。	○		○	○	○
	18DNSD1208	国際看護情勢特論	1後	WHOの看護トピックなどにより、国際的な視点で看護学を捉えた看護情勢を学び、諸外国のヘルスケアの現状と看護実践のあり方を考える。特に、多様な社会・文化的背景をもつ対象への看護や社会・経済格差からくる健康格差の改善などの課題について多様な視点で考察できる基礎的能力を修得する。	1. 諸外国のヘルスケアの現状や人々の健康に関する多様な価値観・生活習慣を説明できる。 2. 国際看護の諸問題を系統的・論理的に考察でき、解決策を考えることができる。 3. 異なる社会・文化的背景をもつ対象の健康保持・増進のための課題を見出し、必要な看護援助を考えることができる。	○		○	○	○
専門教育科目	18DNSD1209	生涯発達看護学特講	1前	生涯発達の視点での対象および家族に関連する看護上の課題について、現在取り組まれている研究課題と研究過程を概説することによって、生涯発達の視点での研究課題を見出し、研究の方向性を考察できる能力を修得する。	1. 生涯発達の視点での研究に関する文献検索ができる。 2. 生涯発達の視点での研究課題を見出すことができる。 3. 見出した研究課題に対する研究過程を探求できる。	○	○	○	○	○
	18DNSD1210	広域実践看護学特講	1前	広域実践の視点での制度・施策と看護との関係について理解し、現代社会において、様々な健康状態にある対象への看護実践における課題と研究過程を概説することによって、広域実践の視点での研究課題を見出し、研究の方向性を考察できる能力を修得する。	1. 広域実践の視点での現代社会における制度・施策と看護との関連についての研究に関する文献検索ができる。 2. 様々な健康状態にある対象への広域実践看護の視点での研究課題を見出すことができる。 3. 見出した研究課題に対する研究過程を探求できる。	○	○	○	○	○